当社の事業を通じてSDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断され 三井住友銀行より「SDGs推進融資」が実施されました

株式会社ノースオブジェクト(本社:大阪府大東市、社長:南大助 HP: https://northobject.com/)は、株式会社三井住友銀行より「SDGs推進融資」が実施されましたので、お知らせします。

「SDGs推進融資」は、株式会社三井住友銀行が提供する融資商品の一つであり、融資実行に際し、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所が、企業のSDGsに関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ(ロジック)を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等を提供されるものです。

当社は子育て世代のファミリー、とりわけ子育てママに豊かな暮らしを実感してもらうことをミッションに、婦人衣料品及び雑貨の企画、卸売、直営アパレル店舗、ベーカリー、飲食店の運営を行っています。

私たちが考える豊かな暮らし、それは「あまりお金をかけず、日常あるものに少し手間をかけて、日々を楽しむ工夫をするといった自分らしい暮らし方」です。

次世代につながる住宅地域の再生を図る「北条まちづくりプロジェクト」に参画し、2021年3月に、「Keitto~憩い、つながり、高まる 普段暮らしのエンターテイメントパーク~」をオープンしました。

ここでは、直営ライフスタイルショップのほか、ベーカリーやレストラン、ワークショップ、 焼き菓子・布もの・紙もの工房などが集まり、子育て世代のママたちが豊かな暮らし方を体 験できるショールーム・ヴィレッジとして役割を果たしていきます。

■ SDGs の目標達成に向けた貢献が期待できると評価された事業

①オーガニックコットンや再生ポリエステルを使用した商品の製造・販売による環境負荷 低減への貢献

自社ブランド LILASIC (リラシク) が展開する、表がオーガニックコットン、裏がリサイクルポリエステルのカットソー素材を使用した商品の販売を促進しています。それらの素材が広く普及することで、製品ライフサイクルにおける化学物質の排出が抑制されます。





SDC623000 バッグギャザー布帛切替フレア PO ※画像はこちら SDC623001 タックスリーブ布帛切替 PO

目標 1 2 つくる責任 使う責任



12.4 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じて、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪循環を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

12.8 2030 年までに、あらゆる場所の人々が持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

②次世代に繋がる住宅地域の再生を図る「Morineki プロジェクト」への参画を通じた、住 みやすい地域づくりや持続的なライフスタイルの普及





「morineki プロジェクトとは」

大阪府大東市は、地域に点在する公的資産を活用して、一体的・段階的にエリア開発を進める「北条まちづくりプロジェクト」を推進しています。そのプロジェクトの第一弾である"全国初の官民連携による市営住宅の建替え・再開発プロジェクトが「morineki(もりねき)プロジェクト」です。

これまで私たちが大切に育ててきた『手に届く豊かな暮らし』が集結した街づくりとして検討を重ねた結果、大阪府大東市で取り組む次世代に繋がる住宅地域の再生を図る「morinekiプロジェクト」に参画。2021年3月に、「Keitto~憩い、つながり、高まる 普段暮らしのエンターテイメントパーク~」をオープンしました。

これにより、安心して子育てができる地域づくりに貢献します。また、ワークショップへの取り組みを通じて、四季の変化や日々の暮らしを大切にする持続可能なライフスタイルを持つ家族が増え、そうした習慣を持つ子どもが増えることが期待できます。

目標 11 住み続けられる まちづくりを



11.3 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

目標 4 質の高い教育を みんなに



4.7 2030 年までに、持続可能な開発のための教育および継続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和および非暴力的文化の推進、グローバル、シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識および技術を習得できるようにする。

当資料に関するお問い合わせ先

株式会社ノースオブジェクト

本社:大阪府大東市北条3丁目8-1

TEL: 072-300-2673 FAX: 072-803-8133

広報チーム 小谷・馬場